

## 埼玉県中体連陸上競技大会開催についての感染症対策

- (1) 大会参加者（大会役員・競技者・競技役員・学校関係者）は、埼玉県中体連感染防止ガイドライン及び日本陸連の陸上競技活動再開についてのガイダンスを遵守する。3密回避・医療関係者常駐・医療用個人防具の準備。
- (2) 主催者は感染症対策を講じて、大会参加者に注意喚起や協力を促す。
  - ①大会は無観客とする。
  - ②65歳以上の競技役員の委嘱は原則しない。
  - ③医師又は看護師を常駐させる。
  - ④緊急時には大会中であっても中止する場合がある。～感染症対策～
  - ・各種ゲート、諸室の出入口にアルコール消毒を設置する。一定時間で換気を十分に行う。使用した場所は全て消毒をする。
  - ・使用した器具等は、終了後、全て消毒を行う。
  - ・大会関係者は原則マスクまたはフェイスシールド等を着用する。
  - ・参加者全員の健康観察を行い、感染の疑いや濃厚接触の疑いがある者は隔離し、場合によっては退場を促す。
  - ・飲食は原則禁止とするが、水分補給や昼食等は必要に応じて行う。
  - ・ゴミは各自持ち帰りを徹底する。
  - ・大会後、感染が確認された場合には追跡調査を行い、感染や接触の疑いがある場合には速やかに該当者に連絡をする。
- (3) 大会参加者は、大会前2週間の体温計測を含む体調管理表（またはそれに代わるもの）に記入して大会本部に提出する。大会終了後2週間以内に感染症の疑いのある症状があった場合には、関係機関及び主催者に報告する。
  - ①大会役員及び競技役員は、役員受付で競技役員カードの記入・検温・消毒を実施し、確認済みの役員はIDを見えるところに着用し、主催者で準備したリストバンドを着用する。
  - ②生徒補助役員は必要最小限として、選手と同様に健康観察表等を提出する。
- (4) 学校関係者は、大会申込み時にガイダンス及び感染症対策を十分に理解し、遵守すること誓約するものとする。競技者が会場に滞在する時間を短くなるように、分散での来場・退場、ベンチの取り方、ウォーミングアップや招集の計画等を事前に計画しておく。集団での活動・発声・応援は行わない。
  - ①顧問・競技者以外の来場を認めない。
  - ②スタンドは開放しない。ベンチは競技場1ゲートから4ゲートの競技場周辺または、補助競技場トラック外側の芝生エリアとする。雨天時は競技場コンコースを開放することがある。
- (5) 競技者は、大会参加に際して体調管理表（またはそれに代わるもの）を招集時に提出する。また、以下を励行する。
  - ①ウォーミングアップは、補助競技場及び投擲場とする。その際に、ソーシャルディスタンスを常に意識して行う。また、雨天時はバックスタンド下、雨天走路を開放することがあるが競技役員の指示に従う。
  - ①移動中や待機中はマスクを着用する。
  - ②手洗い、手指消毒等をこまめに行う。
  - ③砲丸投げに使用する器具は主催者で準備するが、それ以外の滑り止め等は各自で準備する。

(6) 大会関係者以外の入場はできない。顧問・補欠・保護者等のスタンドでの観戦も認めない。

(7) 競技に関する配慮事項

・選手の競技場への入退場

トラック ⇒ 北サブゲートより入場 ⇒ レース終了後、南マラソンゲートより退場

フィールド ⇒ 北サブゲートより入場

終了後、各競技役員の指示・誘導により退場

雨天走路 ⇒ 北サブゲートより入場 ※雨天時のみ

・招集の流れ

①トラックは北サブゲート内、フィールドは現地で招集を行う。

短距離はシールの腰ゼッケン、長距離は布の腰ゼッケン

**招集の際に体調管理票を提出。※種目毎、日毎に提出**

②ロールコールは北サブゲート招集所内

・招集時はソーシャルディスタンスを確保し、短時間で行う。

・競技場内での待機時には十分に間隔をとる。

・競技や試技の前後には手洗いや消毒を行う。

・競技に使用する物（テープ・滑り止め等）は各自で持参する。

(8) 大会結果は、トラックのみ電光掲示板速報で確認する。

決勝の番組編成は①予選終了後南マラソンゲート付近で伝える。②正面玄関外側に掲示する。

※結果の掲示はしない、日毎にHPにアップ速報サイト及びホームページ等で確認する。

## 基本注意事項

### 3密回避（密閉・密集・密接）

### 感染症対策（手洗い・消毒・マスク着用・換気等）

#### 日本陸上競技連盟活動再開ガイドンス（抜粋）

○三密の回避(招集場所・選手控え場所・更衣室・観客席)を実施いたします。

○感染症対策として競技役員・選手(競技中以外)のマスクの着用、手指消毒の徹底をします。

○トイレ、手洗い場所に石鹸の設置をします。

○多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保ちます。

○参加者に大会出場承諾書の提出、健康管理チェックシート大会前1週間を提出、健康管理チェックシート大会後2週間を実施し健康管理に留意してもらいます。

○医師・医療関係と連携を図っています。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をするとお約束することは難しいと思われまます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。